

ゴ ク ロー サン  
5 9 6 3

# ハート通信

VOL. 40

竹原運輸株式会社

発行日 平成 23 年 3 月 10 日

## ★事務所スタッフからの一言



皆様、いつも竹原運輸をご愛顧いただきましてありがとうございます。日頃は大変お世話になりありがとうございます。

現在、軽油がまたまた高騰しています。運送会社にとっては大きな経費増につながります。

ところで人生の真実は3つです。

1. 人は必ず死ぬ
2. 人生は1回しかない
3. 人生は何が起こるか分からない

そう考えると、軽油が高騰することだってある。不運な事故に巻き込まれることもあるかもしれない。大事なことは、**どんなときも最善を信じて、今を一所懸命に生きるしかない**ということです。起きた出来事を受け止めて、今自分は何ができるのか？

環境のせいにしてたり、人のせいにしても何も解決はしません。今できることを積み重ねて、あとは天に任せる、という心境でしょうか？

それにしても激動の時代とは、苦しくもあり、楽しくもありますね・・・。

竹原和行

## ◆事務所スタッフからのハートの一言◆



平成 22 年の福井県の交通事故発生状況は、人身事故件数 3,624 件、死者数 42 人、負傷者数 4,336 人、物損事故件数 20,139 件でした。人口は 806,460 人です。死者数は全国的にみても減少傾向にありますが、福井県は死者数では人口比で比較しますと、毎年全国でもワースト 5 に入る程、悪い状況です。

最近、免許更新した折、交通安全講習会を受講する機会がありました。事故多発者の特徴は特に次の 3 タイプらしいです。短気な人、神経質な人、動作の不正確な人です。また、事故を起こさない為には、当たり前ですが交通ルールを遵守することが大事であることを改めて感じました。皆様は停止線手前でちゃんと停止してますか？実際はなかなか出来ませんね。その停止線の位置では左右の確認が出来ない箇所がありますが、歩行者や自転車、バイクが停止線の間近を通行する可能性があると言えます。

更に感じた事なのですが、若者の受講態度が大変悪いのです。持参した本や携帯を見ていたり、居眠りしていたり…。こんな態度の人が交通違反をしたり、事故を起こすんだらうなと思いました。「自分は絶対事故を起こさない」と簡単に軽く思っているのでしょうか、ちょっとした油断で交通事故は起こります。とにかく集中して運転することが肝要です。

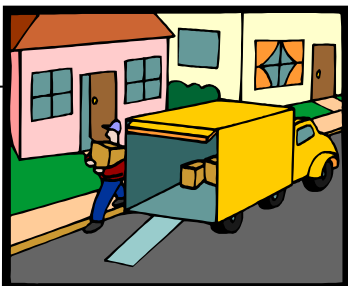
皆様におかれましては、どうかどんな小さな事故もなきようご祈念申し上げます。

社長 竹原正和

引越と、花粉症の季節となりましたが、皆様お元気でしょうか。この通信は 3 月初めに書いているので花粉症はまだ大丈夫なのですが、今年の花粉の飛散量は例年の 5 倍から 10 倍と聞き完全防備で立ち向かいたいと思っております。

さて、今年も引越繁忙期に向かい弊社 5963 引越センタースタッフはお客様の立場になり、心のこもったサービスで満足頂ける引越を提供し 5963 に頼んで良かったと言って頂けるような引越作業を展開していきます。皆様のお知り合いで引越を予定されている方がおられましたら是非、弊社にご連絡ください。ジィが張り切って見積もりに伺いお客様に合わせた引越プランの提案をさせていただきます。

大橋 哲夫



## 「福井を知って！！」

今回、出張で大分市へ行く機会がありました。当地に着くまでは大分は、観光の町、温泉の町（別府）ぐらいにしか思っておりませんでした。いざ大分に着くや私の認識不足が恥ずかしく思っていました。

駅前から立派なアーケードが立ち並び、ビル群が素晴らしくまったくの中堅都市でした。その時に感じたのが我が住む福井は県外の人から眺めるとどう感じているだろうと・・・・・・・・。

福井県は、変化に富んだ景色や歴史、文化など様々な特色を持っている県であるが悲しいかなブランド力が無いため、福井の良さを知らない人が多いのではないかと思います。（今頃何だ！！おまえみたいに浅学ではないぞと思われるかもしれませんが・・・・）

今回は、県外の当社と御取引を願っている御客様に福井県の良さを私流にPRしてみたいと思い寄稿しました。お許し下さい。

福井は、古くから繊維の産地として有名で、あらゆる関連産業が集積されており、総合産地として有名であります。以前は、当社も関連の輸送を主としていた時期もありました。またメガネのフレームは鯖江市を中心に全国の生産90%を占めている程です。

一番に自慢出来るのが、食材の方で海の幸や山の幸等おいしい食材を全国に提供しており、海産物では味覚の王様である「越前ガニ」があります。日本海の荒波にもまれた魚類は身が引き締まっており、県外から御越し頂く方には喜んでもらえます。

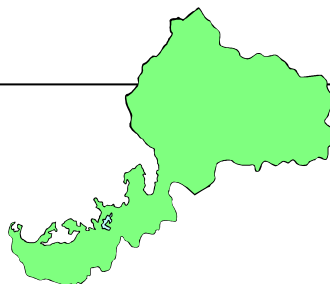
山の幸は、コシヒカリが有名ブランドあり、元祖のコシヒカリは農業試験場で研究され福井県で品種の登録が行われ「越光」となって今日に至っているであります。米どころでもあり、地酒も有名で地元に住んでいる我々も手に入りにくい銘柄も多くあります。

又、冬になるとこたつでみかんを食べる人が多いと思いますが、福井県はこたつの机の上にはみかんでなく「水ようかん」です。聞くところによると水ようかんのルーツは、昔若者は関西方面に丁稚に出ており、正月休みになると故郷にもどる際に御土産に持ち帰って来たのが水ようかんでありそれが定着したそうです。

観光名所は、東尋坊や永平寺があり、とっても景観の良いところです。NHKの連続テレビ小説での「ちりとてちん」は福井が舞台となり、若狭塗の箸が有名になりました。又、現在放映中の大河ドラマ「江」では福井が舞台となり、柴田勝家公に嫁いだ「お市」と共に福井でしばらくの間ですが3姉妹が住んでいたところでもあり、勝家公が妻お市の方と自害した北の庄城（現、柴田神社）もあり、歴史、景観、文化等いろいろな特色のある福井県です。

是非、当社に足を運んで頂き、福井県を堪能して下さい。

橋本 勝



## 「事故分析から！！」

今年度も当社の平成 22 年度期間中に発生した事故の分析を致しました。〈どの様な小さな事故（すり傷）でも事故は事故として取扱っています。小さな事故の積み重ねが大きな事故につながっていくからです。〉

幸いにして人身事故の発生は、ゼロでありました。我々が目標とするものはあくまでも「事故ゼロ」であります。事故発生後、事故報告書にて、どの様な状況で事故が発生したのかを乗務員から聞きとり、ヒヤリングを行い、徹底して原因の追及を行って来ました。

そして事故の発生したその月の安全衛生委員会にて、当事者は委員会のメンバーの集まっている中で発生させた事故の原因と今後の対策、反省を発表してもらっています。（乗務員は大変に苦痛に感じている様ですが止むを得ません。）

事故の情報は、休憩室にある緑十字カレンダーに掲示されます。この情報はすべての乗務員の中で共有化するための、すべての乗務員に伝えられます。事故の情報が掲示されると乗務員同志で真剣に原因と対策を議論しているシーンをよく見かけます。事故を発生させた乗務員は、再び事故を起こすまいと誓っているようです。

当社で目立った事故は、後退時の接触事故（物損）でありました。お客様先での狭い構内に後退して進入する構内事故はなかなかゼロには出来ませんでした。構内事故を防ぐには乗務員に対しての現場の状況は「日々変化する」という認識を持たせなければなりません。

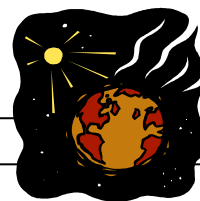
何度も通っている道路、構内で知り尽くしているにも関わらず、昨日まで何もなかった場所に車が駐車してあったり、物が置かれてあったりします。それに気付かず、いつものようにバックしてゴツンと接触してしまっているのです。原因は、慣れや確認不足が根本的原因でないかと思われます。

常に現場に着いたら危険要素や障害となるものがないか、自分で確認して車を動かすという教育を徹底していかなければ事故はなくならないと感じています。

「事故防止の特効薬はない」とよく言われますが、我々プロが事故を防ぐには道路交通法の遵守と安全運転の基本事項を日々乗務員と面談する時や朝礼、点呼を通じて繰り返し伝達をしながら、乗務員自らも「声」を発生させることで、徹底的に意識付けをしていくことが一番有効でないかと思えます。

今年こそ、「事故ゼロ」に挑戦して行きたいと思っております。

齋藤 洋一



油が高騰する中、アイドリングストップを呼び掛けしています。エンジンを掛け立ち話をする傾向が見うけられますが、必ず 5 分以上かかる時にはエンジンを切るように心掛けて下さい。

また、車両を大切に乘って頂くためにも、日常の点検、オイル、水、タイヤ等の点検は毎日欠かさず行って下さい。タイヤの空気圧も大切に燃費に大きく左右されますのでこまめなチェックをお願いします。なお、当整備工場は、ハイブリットや電気自動車の車検も取扱い出来るようになりましたのでお気軽にお申し出下さい。

これからも地球温暖化防止に一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

整備工場 吉川 文雄

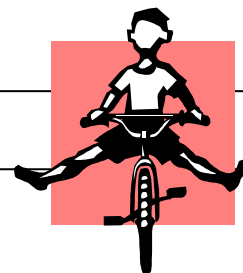
早春の折、皆様いかがお過ごしでしょうか。時折春の便りが届いてまいりますが、今年の冬は福井もたくさん雪が降り積もりました。近年は積雪も少なく楽に過ごしてきましたが忘れた頃にドカッと降るものなんですね。私が子供のころは珍しいことではありませんで、毎年当たり前のようによく雪が降りました。雪合戦やソリ、スキーなども近所のお寺や神社の境内で充分楽しめました。今、思い出せば物が豊富にあった時代でもありませんでした。私たち子供は自分たちで考えた遊びで楽しんでいましたし、子供の目から見る大人は仕事に熱心で怖くて頼りがいがあり格好よく見えました。

大人になった私は昔の大人みたいに子供から見て格好いい大人になっているのでしょうか？物が豊富にある現在では価値観が変化してしまい便利すぎてお互いの存在感すらないのではないのでしょうか？コミュニケーションが不足しているのも事実です。他人様に思いやりを持って接したり相手の立場や状態を考えられない。「正解」は出せても、人と協力して何かを成し遂げることができない。このような状況だと実際、物はあっても豊かじゃありませんね。

家庭の問題は家の中にあり、仕事の問題は会社の中にあります。全て自分の中にあると思います。小さな問題から逃げたり、見逃したり、見て見ぬふりをしていると大問題に発展してしまいます。問題に直面している人の目は輝きに満ちていて相手の目を見て話します。問題がないことが実は問題でコミュニケーション不全になるのです。

いつも目を輝かせ、笑顔で過ごしたいものです。子供のころに出会った大人のように。

池上則和



いつもお世話になりありがとうございます。

毎年この時期になるといろいろな新一年生と道路を共有し、安全輸送には一段と注意が必要になります。また、交通マナーの良いお手本となれるようにドライバーに声を掛けていくには良い時期でも有ります。

今年から息子が中学生になり、自転車通勤をします。姉は自転車の運転が慎重派ですし、移動の手段としか考えていないようなので無茶はしませんが、男の子にとってはオモチャでもあるので（私の経験上です）道路で無茶をしないか心配です。

話は変わり、先日『10年後の子供宛に手紙を書いてください』という課題が学校より出されました。24歳になった娘なんて想像した事が有りませんでした。丁度自分が父親になった年齢でもあり、色々聞きたいことが浮かんで来て、質問攻めの手紙になりかけてしまいました。

これでは、近所のおばちゃんと同じやと思ひ直し、手紙を読めている事、そろそろ匂いを放ちだした私の相手をしてきている事、生れて来てくれた事に感謝の気持ちと御礼をなるべく丁寧な言葉で書きました。

最終的には遺言みたいになってしまいましたが、良い経験だったと学校にも感謝でした。

皆様、もしお時間が有れば大切な人に書いてみては如何でしょうか。

辻川 伸吾

厳しい冬も終わり、日に日に暖かくなり心地良い季節になりました。4月は、新一年生や若葉マークを付けた車が多くなり、学校の近くや住宅地、見通しの悪い場所などは、いつもよりスピードを落して下さい。交差点では、必ず一旦停止するようにし、飛び出しや交差点内の事故に気をつけて頂きたいと思えます。

また、暖かく気持ちいい季節なので寝不足や過労運転などに注意し、体調を整えて居眠り運転しないよう注意して下さい。

植田 泰樹

### 「固定概念」

人が何か考え、観念を持つ時にそれがあきらかに間違っているのに本人がその考えを訂正する事のないような観念、例えば何人かで高い所からバンジージャンプをしようとなったとすると、その中の一人が「僕は、高所恐怖症で高い所が苦手なので出来ません。」と言いました。・・・

確かに高所恐怖症の人は、高い所が苦手なのは分かりますが、でもよく考えて見て下さい。誰だって高い所は苦手だと思いませんか？怖いと思いませんか？高所恐怖症って病気で医者から診断をしてもらえませんか。これはその人の固定観念ではないかと思えます。

その固定観念をちょっとはずして行動してみると視野が広がると思いませんか？何事にも自分の固定観念にとらわれて、無理とか出来ないと思ってやらないよりどうしたら出来るかを考えて行動して下さい。そのためにちょっと自分の固定観念を外してみると、色々なアイデアが浮かんでくるかもしれませんね。

整備工場 谷口 学

皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は、全国ニュースにもありましたように福井県内豪雪になり、私も高校生以来会社まで（高校の時は学校までですが・・・）歩いて通勤しました。道路が除雪されてない所が沢山あり、除雪してある道を探しながらの通勤で思ったより時間が掛かりました。何十年ぶりの徒歩通勤であり、いつも車で移動している私は、数日後に筋肉痛になり、日頃の運動不足を痛感しました。（なぜかすぐには痛くなりませんでした？おかしい・・・）

福井もようやく雪が融け、春が来ました。今年こそは、運動不足を解消しなければと思い、フラフープを購入しチャレンジしました。子供達はすぐに出来、私はなかなか出来ず皆の笑い者でした。



吉川 佳代

次回お楽しみに・・・